

〔特別展〕

愛知大学公館 特別展

― 築後 100 年の洋風建築をめぐって ―

期間 2012年6月2日(土)～7月28日(土)
場所 愛知大学記念館および愛知大学公館

東亜同文書院大学記念センターでは、愛大公館建築100周年を記念して6月2日(土)から7月28日(土)までの期間、「愛知大学公館 特別展―築後100年の洋風建築をめぐって―」を開催いたしました。

期間中は多くの方にご来館下さり、大学記念館および愛大公館の来館者数は総勢1,000名を超え、中でも2日間実施した公館見学会では初日(6月2日)に200名、2日目(6月9日)は新聞発表とロコミでさらに増加し450名という大盛況ぶりでした。

また6月3日付の中日新聞では見学会の様子が取り上げられ、「愛大OBや地域住民ら200人が築100年の歴史に触れた」と掲載されました。



ご あ い さ つ

愛知大学東亜同文書院大学記念センター長
馬場 毅

皆様、こんにちは。本日は大学記念館で行われる当センター主催の愛知大学公館の特別展にお出かけ下さいましてありがとうございます。

愛知大学公館は 1912(明治 45)年に陸軍第十五師団長官舎として建設され、その後 1925(大正 14)年に第十五師団が廃止された後は、陸軍教導学校、陸軍予備士官学校長の官舎などに使われました。戦後、東亜同文書院大学等の関係者によって愛知大学が 1946(昭和 21)年に創立された後、学長はじめ学部長の住宅として使われ、その後は集中講義での外来講師の宿舎として二十余年前まで使用されていました。

このたび愛知大学公館についての歴史やエピソードについて特別展を行うとともに、6月2日(土)、6月9日(土)の両日、13時からの研究員によるギャラリートークに続いて14時から普段公開していない愛大公館の見学会を行います。そちらの方にも多くの方がご参加いただければと思います。

特別展を主催します愛知大学東亜同文書院大学記念センターは、2006年に文部科学省の「学術高度化推進事業(オープン・リサーチ・センター)」に採択され関連した事業を5年間にわたって行った後、2012年に「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に採択され、今回の特別展もこの事業の一環です。また愛知大学東亜同文書院大学記念センターでは、東亜同文書院大学および愛知大学、山田良政・純三郎兄弟と彼らが支援した孫文についての常設展を行っていますので、そちらへもお越しいただければ幸いです。

2012年6月1日

愛知大学公館

愛知大学豊橋キャンパスからほど近い場所にある愛知大学公館は、1912(明治 45・大正元)年 5 月に陸軍第十五師団長官舎として建設され、今年で 100 年を迎えました。



1917(大正 6)年に師団長となった久邇宮邦彦王くにのみやくによしの娘である良子女王ながこ(のちの昭和天皇皇后)も、ここで少女時代の一時期生活されました。1925(大正 14)年に第十五師団が廃止された後は、陸軍教導学校・陸軍予備士官学校長の官舎などに使われましたが、1946(昭和 21)年に愛知大学が創立されてからは、学長はじめ学



部長の住宅として、その後は集中講義での外来講師の宿舎として二十数年前まで使用されていました。



現在は老朽化のため使用されていませんが、洋室と和室を巧みに折衷した造りとなっているこの建物には、シャンデリアや暖炉などが残っており、レトロな雰囲気を今に伝えています。2002(平成 4)年 9 月、豊橋市より有形文化財に指定されています。

師団長官舎で暮らした歴代師団長

旧陸軍第十五師団は1908(明治41)年、豊橋南郊に新たに建設された衛戍地(駐屯地。現愛大豊橋校舎およびその周辺)に進駐した。その北側に離れて建築された師団長官舎の完成は4年後の1912年であった。したがって、実際に第十五師団長が居住していたのは、同師団が軍縮によって廃止となった1925(大正14)年までの13年間と、比較的短期間であった。

しかし、短期間ながらも、7人の中将が師団長として歴任した(年表参照)。そのうち、皇族であった久邇宮邦彦王第7代師団長(在任1917年8月～18年8月)の長女は、のちに昭和天皇の皇后となる良子内親王であり、同内親王が父の十五師団長在任時、ともに官舎で暮らしていた(注1)。ほかにも、廃止時の田中国重第10代師団長(在任1922年8月～25年5月)は、着任前年にはワシントン軍縮会議に派遣随員として参加した経歴を持っていて、軍縮が討議された場と、実際に行われた場の両方に立ち会ったことになる。



久邇宮邦彦王一家
(豊橋での任期を終えて間もない頃)



田中国重十五師団長

第十五師団の廃止後、師団長官舎は新設された陸軍教導学校や予備士官学校(注2)の校長官舎に転用された。敗戦による旧軍解体後は、中国・上海の東亜同文書院大学から引き揚げてきた本間喜一学長らによって豊橋予備士官学校跡地に創設された、愛知大学の「公館」として生まれ変わった。

(注1) 学内には久邇宮邦彦王や裕仁皇太子(後の昭和天皇)などのお手植えの松が育っている。

(注2) 1925年の陸軍軍縮によって師団が削減された一方で、軍隊内の下士官を教育するための教導学校が翌々年に新設され、設置場所の一つであった豊橋では第十五師団跡の一角が転用された。豊橋の教導学校は1941年に、戦時下に指揮官を臨時養成するための予備士官学校に全面移行したが、その過渡期には教導学校長が予備士官学校長を兼任した(これも年表を参照されたい)。

(*本パネルの写真は、いずれもインターネットのものを使用しました)

愛知大学創成期の公館

愛知大学の初代学長になった林毅陸(元慶応義塾大学塾長)は、田中国重師団長と同じワシントン会議派遣随員も務めたことがあり、また第3代学長となった小岩井淨(元東亜同文書院大教授)の妻で、中国大陸では婦人従軍記者として名を馳せた多嘉子(旧姓山岸)は、十五師団と同時に廃止された新潟県高田(多嘉子の郷里)の旧師団司令部に、敗戦後引き揚げてからの一時期居住していたという。旧陸軍施設や第十五師団・師団長との“因縁”がそれぞれにあった。



林毅陸 初代愛知大学学長



(松山通義氏提供)

1946(昭和21)年11月の愛知大学創設時、管理元の豊橋市から提供された旧師団長官舎は「愛知大学公館」となり(のち買取り)、林・本間喜一・小岩井各学長をはじめとする教職員の、長短期両方における宿舎として戦後の住宅難のなか重宝され、本間や小岩井夫妻らは家族で居住した。そして、そこでは学生との交流も自然に行われ、「愛大の夜の学び舎」とも称された。

本間喜一第2・4代学長



小岩井淨3代学長夫妻とともに鍋を囲む学生
(右側手前が学長、左側奥が多嘉子。越知専氏提供)

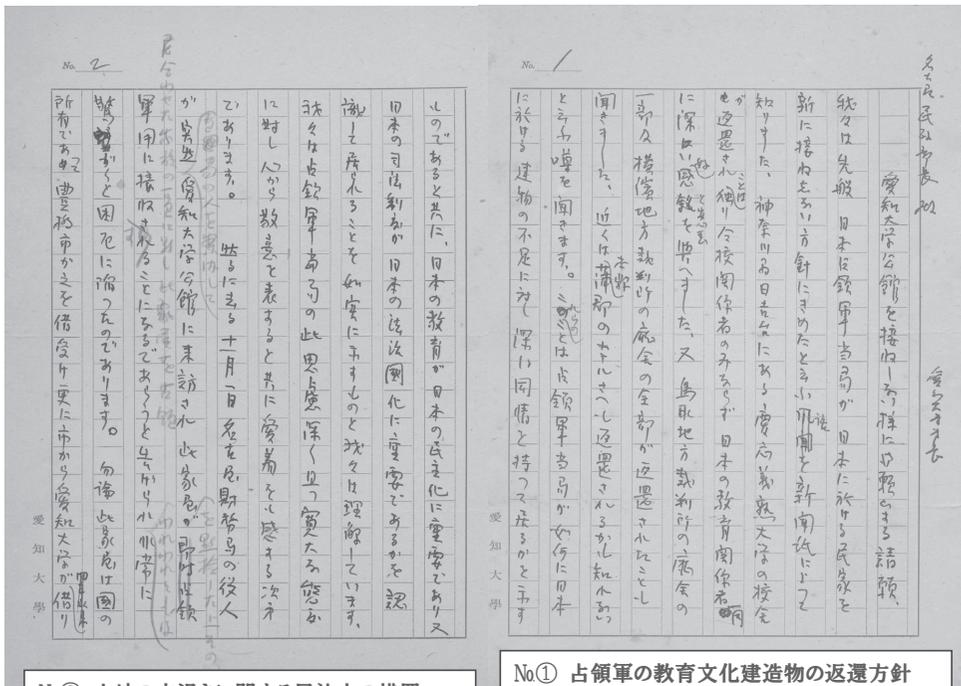
接収の危機を乗り越えた公館 ①

愛知大学公館を揺るがす一大事が、1950年11月1日にもたらされた。来学した占領軍係官（豊橋市長・名古屋財務局員も同行）が、朝鮮戦争勃発にともなう日本の再軍備に関連した「警察予備隊（のちの自衛隊）宿舎に使用するため公館を接収する」と宣言したからである。

これに対してはすぐさま、就任まもない本間喜一学長が、占領軍管下の名古屋民生部長に請願書を出した。

その中で本間学長はまず、占領軍当局が各地で接収した教育的・文化的建造物の日本への返還を始めていることをあげて、日本での教育の重要性を理解しているとした上で、土地の立ち退きを突然迫ることに関する民法上の措置の問題点を、商法上の賃借権問題と裁判での実例を示唆して説明し、民法でも商法でも、賃借権は所有権よりも事実上重要な地位を占めていると主張した。

さらに、教員学生が同一宿舎で勉学・生活をしている英国ケンブリッジ、オックスフォードをはじめとする各大学の理想的な教育環境の例と、占領軍の教育理念を示し、公館接収についての「寛大なる処置」を請願して結んでいる。その背景には「接収は避けられる」という最高裁判所初代事務総長であった本間の自信であった。



No.② 土地の立ち退きに関する民法上の措置

No.① 占領軍の教育文化建造物の返還方針

本間学長がしたための請願書冒頭の草稿（本間長女の殿岡晟子氏提供）

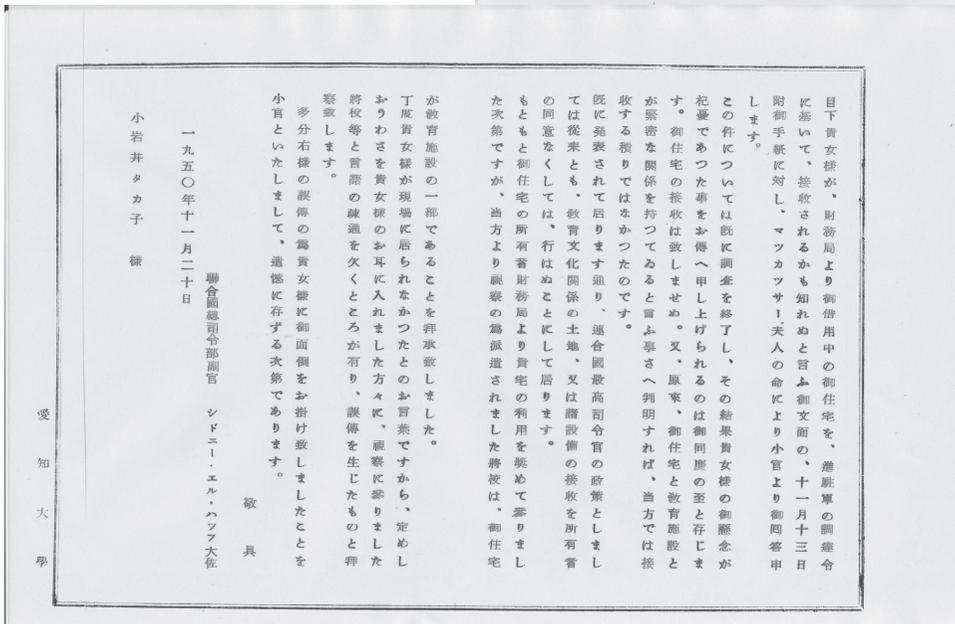
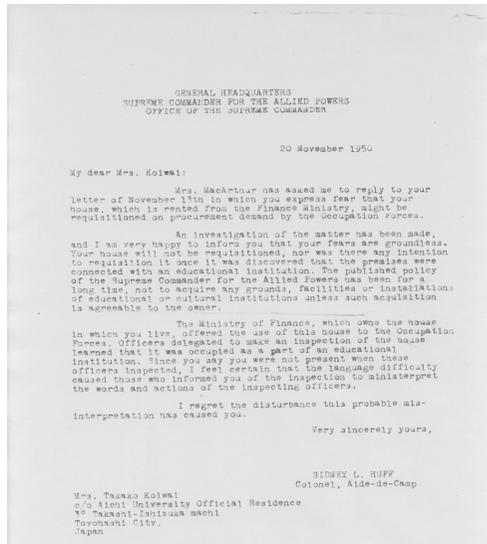
接収の危機を乗り越えた公館③

そのあと 11 月中旬に、小岩井淨学部長夫人の多嘉子氏が個人名で、マッカーサー占領軍司令官のジーン夫人宛てに日本文と、若江得行教授が翻訳した英文の手紙をそれぞれ送った。同氏が筆をとったのは、内助の功として自分にできることはないかと考えてのことであったが、その英文を見た司令部副官は、英語の文体がまるで「シェークスピアのようだ」と感動したという。

そして 11 月 20 日には、その副官の名で多嘉子氏宛てに「このことは誤解であって、もとより接収する意思はなかった」とする返書が届いたのであった。

その返書の一節にあった、「学校教育に便利ならば立ち退かなくてもよい」との占領軍の理解に対し、本間学長はすぐに謝意を学内新聞で述べ、

嵐雲(は)れ心に協(かな)う秋の空
という一句も添えた。



100 歳を迎えた公館

愛知大学公館はこうして進駐軍の接収を免れた。その1年後に調印されたサンフランシスコ平和条約により、日本は占領状態から解かれた。愛知大学はその後、学内への警察官の立入り事件(愛大事件)や富山県薬師岳での山岳部遭難事故という“試練”を経ながら、発展の基盤を確立していった。その間も公館は、本間喜一や小岩井夫妻ら教員(およびその家族)と学生とのかけがえのない交流の場として、重要な役割を演じつづけた。

その後だいに豊橋校舎周辺は宅地化が進み、教職員住宅も公館隣りに鉄筋づくりの建物が新築された。にもかかわらず、愛知大学公館は遠方から来学した外部講師の宿舎として使用され、愛されてきた。愛知大学のシンボリック存在としての本館(現 大学記念館)に比べ、公館はキャンパス自体からは離れているため、いささか地味な存在となった面もあるが、小高い丘の上に立つ公館の存在感は、やはり愛知大学に欠かせないものがあった。



外壁がピンク色だった頃の公館(1980年頃)

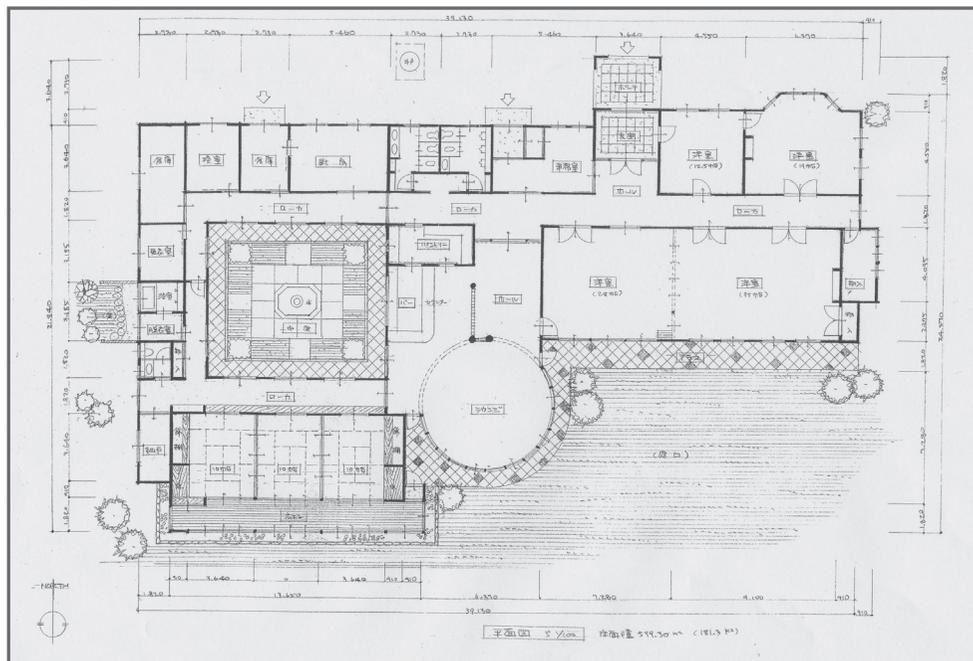
外来講師宿舎としての役目も1980年代に終え、使用休止の状態となった公館の“復活”を望む声は、本館の保存決定と連動する形で学内外より何度も出されてきた。とりわけ2005年の愛知万博(愛・地球博)開催の前には、公館を買い取って万博の迎賓館にしたいとの提案が地元の有力者から上がった。そして実際に話は進んでいたものの、当人の急逝により立ち消えとなってしまう、かえすがえすも残念であった。

しかし、2006年の豊橋市制100周年を記念して製作された映画「早咲きの花」では、公館もロケに使用された。2002年より豊橋市の指定文化財となった公館は、2012年5月に100歳を迎えた。

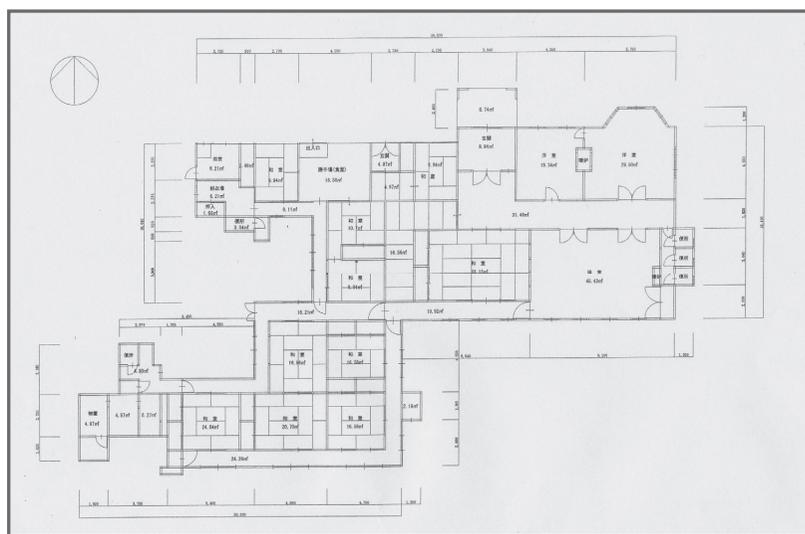
夢に終わった迎賓館構想

2005年の愛知万博(愛・地球博)開催前の迎賓館構想では実際にこのような改築案があった。

《改築案》



《現在》



陸軍第十五師団長官舎、愛知大学公館関連年表

(表中の太字…本文パネル参照)

年代	師団長官舎、大学公館関連	豊橋の陸軍施設関連	地元の関連動向
●第十五師団時代			
1908年10月		渥美郡高師村(現豊橋市)に第十五師団進駐	
1911年7月		陸軍省経理局建築課、第十五、十七、十八各師団長官舎の新築計画を下令	師団進駐により豊橋地区には常時約1万名の将兵が駐留し、以後豊橋は「軍都」と呼ばれる
1912年5月	師団駐屯地の北外れ(現豊橋市高師石塚町)に第十五師団長官舎落成(現在の愛知大学公館)		
1917年8月	皇族の久邇宮邦彦(くにのみやくによし)中将、第7代師団長に着任(～18年8月) ※長女の良子(ながこ)女王も父の任期中、師団長官舎で生活される		
1924年8月			4個師団削減の報が流れ、当局・住民の間で存続運動が起こるも、第十五師団の廃止は同年末に決定
1925年5月		軍縮実施により第十五師団廃止。同師団の敷地の大半が遊休化	第十五師団の廃止により、周辺地区の経済的影響が深刻化
●豊橋陸軍教導学校時代			
1927年6月	旧師団長官舎は教導学校長宿舎になる	旧第十五師団内の第六十連隊跡地に豊橋陸軍教導学校設置	1928年の中国山東省への出兵に地元部隊が動員される
1933年8月		豊橋陸軍教導学校の敷地拡張 (現在の愛知大学本館周辺および時習館高校敷地を併合)	1937年からの日中戦争に地元部隊が動員される
1939年8月		豊橋陸軍教導学校に予備士官学校を併置	
●豊橋(第一)陸軍予備士官学校時代			
1940年11月	この頃、教導学校長宿舎が予備士官学校長宿舎になる	豊橋陸軍教導学校を豊橋市内の西口町に移転し、従来の敷地を豊橋陸軍予備士官学校に一本化	
1943年8月		西口町の教導学校を豊橋第二陸軍予備士官学校に改編し、豊橋陸軍予備士官学校を豊橋第一陸軍予備士官学校と改称	1941年からの太平洋戦争に地元部隊が動員される
1945年7月		西口町の豊橋第二陸軍予備士官学校の県外移転決定に伴い、豊橋第一陸軍予備士官学校を豊橋陸軍予備士官学校と再改称	6月の空襲で豊橋の市街地の大半が焼失するも、第一陸軍予備士官学校の建物は残る
1945年8月		敗戦により豊橋陸軍予備士官学校廃止(31日付)	
●愛知大学時代			
1946年11月	予備士官学校長宿舎は愛知大学公館となり、歴代学長・学部長の一部およびその家族が居住	豊橋市が管理していた旧豊橋陸軍第一予備士官学校歩兵隊跡地に愛知大学設立(15日付)	
1950年11月	占領軍司令部、愛知大学公館を接収する意を表するもすぐ撤回		愛知大学の新設や新制中学・高校の移転・開校により、旧第十五師団敷地周辺が文教地区に
1960年代	愛知大学公館を集中講義での外来講師の宿泊所に転用		
1990年頃	愛知大学公館が使用されなくなる		
1992年12月	愛知大学公館を保存する方針が定まる	当時の愛知大学本館(元第十五師団司令部)など、学内の旧軍建築物の一部も保存決定	
1998年1月		本館が文化庁より国の登録文化財に指定され、同年5月記念館として公開	
2002年9月	愛知大学公館が豊橋市より有形文化財に指定される		

百年前に建築された各師団長官舎

日露戦争後の軍備拡張により常設化された師団は、豊橋に新設された第十五師団のほか、第十三(新潟県高田)、十四(宇都宮)、十六(京都深草)、十七(岡山市)、十八(久留米)にも存在した。これらの師団の司令部は第十六師団以外、画一的な木造二階建の建築であったが、師団長官舎は和洋折衷を取りつつ、それぞれが独自の意匠をもった様式が取り入れられた。

豊橋以外で現存している旧官舎は高田(現 上越市)と久留米にあるが、豊橋の官舎が和風と洋風との折衷型の平屋であるのに対し、写真のように高田の官舎は外観を洋風とした二階建、(役場の建物を転用した)久留米の官舎は和風を活かした平屋となっており、今日なお活発に活用されている。



第十三師団長官舎(新潟県上越市)
近年自衛隊から市へ譲渡され、移築、復元の上公開



第十八師団長官舎(福岡県久留米市)
「高牟礼会館」として各種会合に使用されている

師団長官舎竣工より終戦までの歴代師団長・校長

第十五師団期（1912～25年）

氏名(いずれも中将)	在任期間	備考
内山 小二郎	1909.1.14～1912.11.27	在任中に官舎竣工
井口 省吾	1912.11.27～1915.1.25	
由比 光衛	1915.1.25～1917.8.6	
久邇宮 邦彦王	1917.8.6～1918.8.9	
尾野 実信	1918.8.9～1919.11.25	
市川 堅太郎	1919.11.25～1922.8.15	
田中 国重	1922.8.15～1925.5.1(廃止)	

陸軍教導学校期（1927～41年）

氏名(階級)	在任期間	備考
武田 秀一 (大佐→中将)	1927.6.30～1930.8.1	
川原 侃 (大佐)	1930.8.1～1932.9.1	
林 茂清 (少将→中将)	1932.9.1～1935.3.15	
中井 武三 (少将)	1935.3.15～1936.3.7	
常岡 寛治 (少将)	1936.3.7～1938.3.1	
伊藤 知剛 (少将→中将)	1938.3.1～1939.8.1	
石黒 貞蔵 (少将→中将)	1939.8.1～1940.8.1	予備士官学校長兼任
古閑 健 (少将→中将)	1940.8.1～1941.9.1	予備士官学校長兼任

陸軍予備士官学校期（1941～45年）

氏名(階級)	在任期間	備考
小田 健策 (少将)	1941.9.1～1942.12.14	
永沢 三郎 (少将)	1943.3.1～1944.7.14	
早淵 四郎 (中将)	1944.7.14～1945.8.31(閉校)	

(注)

- ・第十五師団の豊橋進駐前および、師団長官舎竣工前の師団長は省略。
- ・陸軍教導学校と予備士官学校が師団跡に併存していた時期(1939～41年)は表内のように校長は両学校を兼任していたが、ここでは該当校長は教導学校に組み入れた。また、豊橋市内西口町に移った教導学校が改編された「第二予備士官学校」の校長は省略。







◆6月2・9日公館見学会アンケート結果（総集計数：290名）

見学会の評価

	非常によい	よい	普通	余りよくない	よくない	無回答
男	49	60	15	4	0	7
女	58	77	9	3	0	8
合計	107	137	24	7	0	15
	37%	47%	8%	2%	0%	5%

290

100%

年齢別

男性		
	人数	地域
10代	5	豊橋市、名古屋市
20代	4	豊橋市、豊川市
30代	9	豊橋市、安城市、知多市、浜松市
40代	15	豊橋市、知多市、新城市、岡崎市、名古屋市、広島県
50代	24	豊橋市、田原市、刈谷市、豊川市、名古屋市、北名古屋市、浜松市
60代	48	豊橋市、豊川市、安城市、名古屋市、新城市、岡崎市、愛西市、豊田市、みよし市
70代	19	豊橋市、蒲郡市、豊川市、名古屋市
80以上	9	豊橋市
無回答	1	西尾市
合計	134	
	46%	

女性		
	人数	地域
10代	5	豊橋市、愛西市
20代	16	豊橋市、名古屋市、安城市、蟹江町、豊川市、豊田市、岡崎市、一宮市
30代	10	豊橋市、豊川市、名古屋市、蒲郡市、知多郡
40代	31	豊橋市、一宮市、名古屋市、豊田市、春日井市、岡崎市、知多市
50代	29	豊橋市、豊川市、田原市、尾張一宮、名古屋市、春日井市、西尾市、瀬戸市、岐阜県、三重県川越町
60代	37	豊橋市、豊川市、田原市、名古屋市、新城市、岡崎市、瀬戸市、豊田市
70代	23	豊橋市、豊川市、田原市、半田市、名古屋市、知立市
80以上	4	豊橋市、弥富市
無回答	1	名古屋市
合計	156	
	54%	

◆6月2・9日公館見学会での主なコメント（テーマ別、総集計数：290名）

〔凡例〕各コメントの最初のカッコ内の記号は、以下の意を示す

（アンケート「今回の見学会に参加されてどう思われましたか」での選択）。

◎…「非常によい」（を回答した人のコメント。以下同）、○…「よい」

△…「普通」、●…「余りよくない」、―… 無回答

・複数のテーマが含まれていると思われるコメントには、(…)を挿入した上で分割して該当部をそれぞれのテーマに掲載した。また、さらに具体的なことを詳しく記していると思われるものは、「総合的な意見」として、分割せずに最後に一括掲載した。

・各コメントの表記は原則原文のままとしたが、句読点を一部補ったものもある。

●公館の設備・雰囲気についての感想

6月2日付

(◎) 歴史的にも貴重な建物だと思います。(…)

(◎) 部材の質が大変よく、もう手に入らないような部材(床板、長押、杉の桁、床框などなど)ばかりで、いつまでもいつまでも残しておいて欲しいと思いました。

(◎) 懐かしく思う。

(◎) 一時代を感じさせる建築物で、たいへん興味深く拝見させて頂きました。

(◎) 師団長、学長などがここで生活していたと思うと感慨深いものがありました。

(◎) 明治の建物が身近に感じる事が出来たととても良かった。

(◎) 37年前、入試バイトで、この館で仕事をしました。普通なら経験できないことでしたが当時の情勢でそうになりました。大変懐かしく、今日タイムスリップを味わいにきました。(…)

(◎) とてもなつかしかった。こんなに貴重な建物の中で一時的にも仕事が出来て嬉しかったです。(…)

(◎) 100年前の建物としては程度がとても良い。使用されている材料もすばらしい。

(◎) 100年にしては状態は良いが、外観と内部のギャップが、その時代をかもしている様に感じる。

(◎) 近くにこのような建造物があるのを初めて知り、歴史は続いているのだということを実感いたしました。(…)

(◎) 父が軍人として豊橋の連隊におりましたので懐かしさと、私自身が戦中派ですので思いがあり胸がいっぱいになりました。9日にもう一度見学したく思います。(…)

(○) 私の家に公館の木が結構茂ってきています。切って欲しいです！！

(○) すばらしい文化財と思いました。(…)

(○) 定期的に見学できるようになっても良いと思えるほど、素敵な建築物でした。

(○) 築100年という節目に公開されたのがよい。歴史を感じる建物である。

(○) 100年の歴史を感じた。

(○) 普段入れない貴重な建物に感無量した。

(○) とにかく軍隊の跡地は知っていましたが、こういう場所に由緒ある建造物があるなんて見に来てよかったです。(…)

(○) タイムスリップしたような和と洋がマッチした建物でした。残しておきたいものです。

(○) 見学できない場所でしたので、明治村を思い出してしまいました。(…)

(△) 在校時教授のお名前をボードで拝見しなつかしく思いました。(…)

(―) (…) 建物は意外にシンプルで、実用的ですね。

6月9日付

(◎) カッコいい(外見)

(◎) 是非後世に残したい記念物です

(◎) 建物のかざりやツツタがよかった。(…)

- (◎) 昔を懐かしく思う。歴史がよく分かる。この建物を絵にする友人がいる。
- (◎) 立派なお部屋でびっくりした。
- (◎) しっかりとした建物ですが、想像以上に老朽化しているのに驚きました。100年ですものね…。(…)
- (◎) 近くにいなから、こんな歴史的な建物があるなんて全然知らなかった。(…)窓に絡まったつがが印象的だった。
- (◎) 100年前に建られて、大変歴史の深さを味わった。ありがとうございました。
- (◎) (…)外観の汚れは残念に思う。
- (◎) 景色がいい。なかなか入れない場所なので来て良かった。「となりのトトロ」みたいだと思った。
- (◎) 落ち着いた感じで良かった。景色が良い。
- (◎) 昔の建物がそのまま残っているのに感動した。防空壕を掘り返してみたいと思った。
- (◎) 大広間がすごかったです。どの部屋も天井が高く不思議でした。
- (◎) 普段見ることのできないような窓、扉のつくり、暖炉などが見ることが出来てとても面白かった。
- (◎) (…)置いてある屏風が気になった。
- (○) よくぞ残していただいたと思います
- (○) これからの保存が心配です。
- (○) (…)子供のころ遊んだ、懐かしい。
- (○) 当時の師団長の威光を実感させられる。ピアノの製造番号 24660も感慨深い。
- (○) (…)昔、遊び場としていた頃とはずいぶん違ってきており、放置されていた(?)のが見える。
- (○) 古いものにひかれます。まず最初におもてのポンプが目に残り、昔、田舎に行った時使った子供時代を思い出しました。内部を見ながら、戦前当時など想像しました。
- (○) 古くなってしまって、手入れをするとよろしいのに。
- (○) 歴史的に重要な建物が残っていることに感動しました。何とか後世に残してほしいと願っております。
- (○) 自分がまだ小学生の頃おばあさんに、この場所は皇室の方の家だったと聞いたことがあります。
- (○) 軍部とのかかわり歴史を感じました。
- (○) 近所の住人として関心はありましたが拝見したのははじめてです。大分傷みが目立つので心配です。しっかりした保存が望まれます。
- (○) 皇族もお住まいになられていた建物を見学できる機会はありませんので、興味深く見せて頂きました。窓の枠や、よく磨かれた床など、今の建物にはないレトロな雰囲気がとても素敵で、見に来てよかったと思います。
- (○) 建物の傷みが激しく痛々しい感じがしました。貴重な資料として残しておくことは大切なことですが、維持していくことの大変さ難しさがあると思います。
- (○) 維持するのは大変。
- (○) 畳の敷き方が面白い。
- (○) 天井が高く、夏など涼しそうにみえます。庭も広くとてもすてきです。
- (○) 思ったよりきれいでした。人がいるかないかで、建物は新しくても古くてもきれいに保てないと思いました。
- (○) もう少しきちんと管理してあげばなあと思います。
- (○) 100年も前のものがきれいに残っていて驚きました。床が不安定で見れなかったところが残念でした。(…)
- (△) サンフランシスコに普通にある百年前の建築物群と同じ時代の物が健在だと感銘を受けました。
- (△) 以前にも訪れた気がした。100年前というと、1912年。大正時代の建物でしょうか。大正13年？陸軍の公館とすると、意外に質素？(…)
- (△) 手入れが行き届いていないのが非常に残念。
- (●) (…)補修が行き渡っていない部分が多く、市内に残存する貴重な建築物としては非常に残念。
- (●) 淋しく思いました。
- (一) 実は教導学校時代の校長であった常岡少将(?)の息子(長男)と福岡小学校時同級生でこの庭でよく遊んだ。当時はもっと広がったと思う。
- (一) 子供の頃公館で遊ばせてもらい、なつかしさがいっぱいでした(小岩井さんの時代)。(…)

●今回の見学会の開催についての感想、今後の要望

6月2日付

- (◎) ふだん見ることの出来ない施設を公開することはいいことです。
- (◎) 次の見られるかわからないものが見られて貴重であった。(…)
- (◎) もっと(見学会を)やってほしい。
- (◎) (…)ぜひ残してほしいです。公開して下さりありがとうございます。
- (◎) (…)今後もこのような企画を度々お願い致します。
- (◎) (…)とても貴重な物を拝見できありがとうございました。
- (◎) また企画してください。
- (◎) いつもは未公開の建物を見学できて興味深かった。(…)
- (○) 通常では見ることのできないものを見せていただき、有難うございました。
- (○) 普段見られない内部が見られて良かったです。こういう機会を増やして欲しいです。
- (○) こういう機会を設けてもらったことに感謝します。ただし荒れた場所があるのは残念でした。(…)
- (○) (…)何とか常に(もっと回数)見られるとよいですね。この歳になるといろいろ知りたいのです。
- (○) 公館の近くに住んでいます。身近にある歴史的な建築物を拝見させて頂きありがとうございました。
- (○) (…)(なかなか)貴重な体験でした。ありがとうございます。
- (○) 近くに住んでいるので見学させて頂きました。
- (一) 小学生の頃1年生と思いつかしく見学しました。出来れば同級生の常岡正(昭和3年生)、常岡少将の子供。

6月9日付

- (◎) できれば定期的に開催してほしい。
- (◎) これを機会にオープンする日を増やしてほしい。
- (◎) 地元で親しまれた伝統的な建物を、公開されることは非常によいと感じました。定期的に公開されてイベントが開催されると良いと思います。
- (◎) なかなか目にすることができないものを惜しげもなく一般に開放してもらえてとてもよかったと思う。(…)
- (◎) 家の者が(愛大卒業生)来る事ができなかったのも、また公開してほしい。愛大生としても知らなかったのも。
- (◎) このような機会に参加できたことで興味が持てました。
- (◎) 場所さえ知らなかった公館を拝見できて非常に良かったです。(…)
- (◎) (…)これからも見学会を開いてほしい。(…)
- (◎) (…)又、展示会があれば見せて頂きたいです。
- (◎) 今日は親を連れて来られなかったのも、是非見せたいです。是非また公開して下さい。(1時間は短すぎる)
- (◎) 前の通りはよく車で通るが、公館の存在は全く知らなかった。今回のような企画は是非又行って欲しい。(…)
- (○) 公開期間を1ヶ月程度にしてもらいたい。
- (○) 又、見学会を開催して下さい。
- (○) 数少ない貴重な建物をじっくり見ることができて良かったです。愛大の現役生にも見てもらいたいと思います。私も愛大の学生で、授業の後に訪れました。
- (○) 是非今後も公開、活用を。今日は人数が多すぎ、でも関心が高いことの証明。活用は愛大の誇り。イメージアップにもつながる。
- (○) 昔の建物に触れるよい機会だった。
- (○) 市内に在住でも、このような100年前の歴史の跡が残されていること知らなかった。出来るだけ保存し軍都の歴史が風化しないように伝えいかれること祈念する。
- (○) (…)2日間だけの公開なのが残念でした。今後も機会があれば公開してほしいです。
- (○) 貴重な歴史的建築物の内に入らせてもらうことができ、ありがとうございます。案内をくださった方々、準備を下された方々、感謝いたします。
- (○) 歴史ある貴重な建築物を見学できたことを嬉しく思います。

- (○) 近くに住んでいながら、やっと見学できてよかった。30年も前よくぞここまでと思う。
- (一) 初めて見学できてうれしかった。
- (一) 記念館の方へもぜひお伺いしたいと思います。
- (一) 10年前まですぐ近くに住んでいたけれど、道路から何なんだろうと気になっていましたが今日中に入ることができ、こんないい建物があったことにびっくり感動しています。(…)
- (一) めったに公開されないときいて見学にきました。(…)
- (一) (…)100年前の建物を見させて頂き感動しました。

●見学会の進行や、スタッフの説明・対応についての感想・意見

6月2日付

- (◎) ご近所の当時の悪がきみたいな人が戦後のお話をされ興味がさらに沸いた。市民とともにあることをお忘れなくされたい。
- (◎) (…)もう少し時間が長いと良い。(人が多すぎる)
- (◎) 場所がわかりにくかったです。
- (◎) 自由に見学できてよかったです。また、その場で説明を聞くこともでき、勉強になりました。
- (○) 動線を作らないと動けない。
- (○) 人数整理して順番に案内して下さい。
- (○) 説明がよく聞けなかったのが残念。
- (○) 人が多すぎて床が抜けないか心配でした。
- (○) 大勢の方が見学で混みあっていました。時間制入れ替え方式など工夫があるとゆっくり見学できたかも。
- (○) 人が多くて、もう少しゆったり見られたらよかったかと思います。
- (○) 案内してくれた方が親切で分かりやすかった。
- (△) 新聞の案内のみで参りましたので、記念館での説明やスリッパ持参など知りませんでした。
- (●) 説明があるなら、それを前もって知らせてほしかった。
- (一) 2時からと新聞で見たが、見学会の流れがよく分からなかった。
- (一) 自由に見ることができてラッキーなことに説明が聞いて楽しかった。引越してきたばかりで、陸軍の記念碑とかお墓とか多いなと思っていたらそういう理由だったのだと納得しました。(…)

6月9日付

- (◎) 係の方が親切。
- (◎) (…)見学時間が短いと思う。
- (◎) 自由な見学ができてよかった。また説明もいくつかのエピソードをまとめており面白かった。
- (◎) 説明と案内をして頂いたのですが、面白くて分かりやすくてとても勉強になりました。
- (◎) 簡単で分かりやすい説明で聞きやすかった。(…)
- (◎) 解説が丁寧で、面白い話も沢山聞けて楽しかった。昭和天皇の家族の話が特に面白かった。ひのき風呂を持ち帰るとは中々すごい！
- (◎) 案内がわかりやすくてとても興味を持ってました。エピソードなどとても面白かったです。なかなか調べてもわからないような話を聞いて楽しかったです。
- (◎) 学芸員さんの説明が丁寧で分かりやすかったです。
- (○) もう少しゆっくり見たいと思いました。期日が短いと思います。
- (○) 外観の説明も必要です。
- (○) 人数の制限等を考慮する必要があると考える。(建築物の老朽化の為)
- (○) 傷みが激しいようなのでやむをえないかもしれませんが、もう少し公開の機会があれば…人がいっぱいでも何かせわしない感じでした。
- (○) 大変興味深く拝見しました。説明も分かりやすかったです。(…)

- (○) 携帯電話気になりました。
- (○) ゆっくり見学したく思いました。
- (○) やはり時間に追われてしまったのが残念でした。
- (○) とても楽しみにしてきました。道に迷いながら来ましたが(地図は頂いたのですが)ぐうぜん一緒になった方とお話できました。途中で案内があるのもっとよかったですと思います。職員の方の案内も丁寧でよかったです。
- (○) 人数の制限をしたり、DVD を見せて下さったりして工夫をしていただいたことはとても嬉しく思いました。が DVD を見ていたため並んでいた人たちが先に入るようになっていました。やはり工夫をしたら工夫したことが生きるようにしていただけたらもっと気持ちよく見学することが出来たと思います。
- (○) 人数が多く説明をする人を増して一緒にし、団体として行動すると良い。建物の中の様式とか、屏風等の説明もして欲しかった。
- (○) 本館の場所を表示して欲しかった。
- (○) (…)各部屋の使用法の説明もあったのでわかりやすかったです。
- (△) ここにも当時の展示物があるといい。
- (△) 人が多くてゆっくり見学できなかった。
- (△) もう少し時間を長くして公開いただけたらよかったです。建物の説明などあったらよいと思いました。
- (△) 人数が多く、待つ時間人が多かった。人数などの交通整理をする人がいた方がよい。何分待てばよいかもわからなかった。(…)
- (△) 通常非公開ということで、とても混んでいたのが驚いた。
- (●) 公開時間を長めにとってほしい。(…)
- (●) 説明はよく分かりよかった。公館までの道が HP の地図では分かりにくかった。20 分グルグルした。室内に説明板などを設けて欲しい。
- (●) 見学者の見込みが難しかったとは思いますが、入場制限、人数調整が必要だと思いました。事前申込でもよいので、今後も公開を望みます。説明パートと写真撮影の時間を分けるとよかったかもしれません。
- (●) 入場時に順序良く入れるようになっていけばいいと思いました。もっとゆったりと見たかったです。

●今後の公館についての要望・アイデア

6月2日付

- (◎) 入館料をとってでも補修をして、保存・維持して欲しい。
- (◎) (…)是非すみやかな保存活動を…。
- (◎) 近代建築を見るのが好きなので、感動しました。是非、現状のまま保存を望みます。将来は国の重文指定にと希望しています。
- (◎) 公館は古い建物でもあり和洋もあり、保存も考える必要ありと思う。しかしそれにはお金がゆかりそう。公的に管理運営ができれば良いと思う。
- (◎) (…)是非保存できる様お願いします。
- (◎) 歴史の中の人々の思いを想像させて頂くよい体験でした。現代にもっと生かして使用できたら良いのに…と思います。(…)
- (◎) 長く保存されること愛大で管理されることを望みます。
- (◎) (…)この建物大切にしたいと思えます。
- (◎) 愛大の貴重な宝だという認識をしっかりと確認し、豊橋のNo.1の観光ポイントになるよう、大至急取り組んで下さい。このままほおっておく事は大学にとっても大きなマイナスだと思いました。
- (◎) (…)是非保存に力を入れて残して頂きたいです。
- (○) (…)壁のひびを見て哀しくなりました。何とか修理して永久保存をしていきたいと思いました。
- (○) この建物を大事に保存されるように期待します。
- (○) 今まで立派に保存し、残っている。今手を加え修繕してでもぜひ後世に引き継いで行って下さい。

- (○) もっと詳しく市民に伝えるべきだ。数少ない豊橋の文化財としては、この宝物を残し活用、他県にも知らせるべきだ。
- (○) 文化遺産として整備して一般に公開されるといいと思います。
- (○) (….)大変なことだと思いますが、なんとか後世に遺していただきたいと思います。
- (○) 家の近くにあるのだが、初めて中に入った。もっと手を入れて保存し、活用できればいいのですが。金額のこともあるので、なかなか難しいと思うが、豊橋市としても100年の建築物を残すことができないものが。
- (○) 同時に修理にあてる募金活動もしたらいいのになあと思った。協力してくれる人は多いと思う。
- (○) 建物に風を入れるためにも時折は公開したほうが良いのでは？勿論常時は無理と思うが…。(人手他)
- (△) あまり形態を考えずに残して欲しい。
- (△) (….)募金活動をして保存に力を入れて欲しい。
- (一) 市民に公開、公表してほしい。地域の財産としてどう活かしてゆくか議論を！
- (一) 維持むずかしいと思いますが、残して欲しい建物ですね。

6月9日付

- (◎) 愛大の財産としてなんとか残してほしい。
- (◎) 在学中に一度も見学したことがなく残念でした。保存は大変なことですが、文化財として豊橋市民および全国に発信して歴史として永久に残して頂きたいと思います。
- (◎) もう少し手を入れて保存がなされたら良いと思います。
- (◎) 改修し残して頂きたい。文化財の価値は十分にあると思います。
- (◎) 県または市の管理下において、修理・整備し、末永く保存公開していただきたい。豊橋市・東三河の宝である。
- (◎) 第15師団の駐屯したことは豊橋の誇りである。豊橋の歴史にふれる機会を今後とも期待したい。ささしまへの新校舎建築も結構であるが、豊橋に学舎を構える大学として、豊橋の歴史・文化を守り伝える責務も是非果たしていただきたいと思う。
- (◎) 活用してほしい。
- (◎) 何らかの形で活用されることを望みます。
- (◎) 古い物をこわすのは簡単だけど、こわしてしまっちは2度と同じものを作り出すことはできません。こわすことはせず、使用してもらい、外壁を塗装して、大事に使ってほしい。寄付(募金)金等をつのって、いつまでもいつまでも大切にしてほしい。
- (◎) (….)これからの保存や修復問題が課題となるかと思うので是非存続・維持してほしいです。
- (◎) 手入れをして下さい。
- (◎) (….)できれば補修して更に活用されますよう祈っています。
- (◎) 是非遺しましょう！！歴史遺産として、豊橋の、日本の。
- (◎) (….)維持管理が大変だと思いますが、ずっと残してほしい。老朽化が進んでいて心配です。
- (◎) 維持も大変だと思いますが、大切に残して頂きたいです。
- (◎) これだけの財産をうもれさせるのはもったいないです。ぜひ保存してください。(…)
- (◎) 老朽化がひどいので早目に市、国、県から予算を取って、修繕した方が良いと思う。(卒業生にも見てもらって募金してもらおう)公館を知らない人がほとんどだと思うので、広く知ってもらう価値があると思います。見学させてもらい良かったです。
- (○) 保存をよくして今後も愛大の宝物としてほしい。
- (○) 修理して公開されることを望む。
- (○) 是非残して活用してほしい。
- (○) 保存していただきたい。
- (○) 是非もっと色々な人に知ってもらえるといいなと思います。由緒ある建物が風化していくのは寂しいですから…
- (○) 傷みが激しく、早急に対応を望む。
- (○) 貴重な建物の公開有難うございます。中々経済的な面があるので厳しいとは思いますが状態が悪くならない内に補修復元がされたらよいなと思います。旧軍時代の建物も大分減少しました。社会的・建築史上からも良い状態で保存できていけばいいなと思います。金も出せぬのに要望ばかりですみません。

- (○) もう少し手入れをしてほしい。(…)
- (○) 出来れば旧来の形で復旧して欲しい。出来れば庭も含めて。子供の頃のイメージとは大分変わっており、いささかびっくりもしている。壊れる前に文化財としての価値を残す様をお願いしたい。(…)
- (○) せっかくの建造物、市とタイアップしてもっとよい保存状態とし、期間を長くもっと広く公開すべきだと思います。維持費用も大変だと思いますが、町おこしの一環としてもっと有効利用されることを望みます。
- (○) 無料じゃなくて一人ずつ少額をとってもよいので、それでペンキを塗りなおしたり、壁を直したりしてこわれないようにして下さいと嬉しいですよ。
- (○) 非常に古い物ではありますが、とても貴重な物なので、残されることができればとてもよいと思います。喫茶店、フランス料理店等はいかがでしょうか(笑)。
- (○) 残してほしいと思いますが…。
- (○) 大切に保存をしてほしい。
- (○) 歴史を知る為にもぜひ大切に保存をしてほしい。文化保存の為愛大の叢書を結集していただくことを期待しています！
- (○) 手入れをして残して頂きたいと思います。余りにも朽ちているので残念です。
- (○) もう少し手入れをして保存し、もっと公開した方がよいと思う。かべや窓枠等(手入れをして欲しい)、せっかく長い間たっているのだから地震対策もして下さい。新しい校舎を建てるのもいいが、古いものを大切にすることも考えて下さい。
- (△) (…)この家の将来はどうなんでしょう。記念資料館に出来る可能性はあるのでしょうか。
- (△) もっと整備をしてほしい。色々土壁など直して。
- (△) (…)公館は貴重なものであり保存してほしい。
- (△) 改修出来たらいいですね。寄付集めては。
- (△) これを機会に修復など出来たらよいと思う。残して欲しいものだと思う。
- (△) 手入れをして豊橋のPRに使ってほしい。ここにあること自体知りませんでした。
- (●) 市民に寄付を求め整備して欲しい。
- (一) 外壁を大事にする為、ツタは生わさない方がよいかと思ひます。
- (一) (…)これからも生かされていくことができたいと思います。
- (一) (…)歴史上価値があると思うのでこれからも維持・管理して大切に残して欲しい。

●総合的な意見

6月2日付

- (◎) 和館の方も見せてもらえて良かった。見学会ならではの説明も聞けました。材料も良く、とても質の良い建物で、これだけ完全に近い形で残っているのに市の文化財どまりな上、手入れもなっておらず大変残念です。新校舎よりも学生以外の人々のためにもこちらの建物の修繕に力を入れて頂き、せめて国の登文くらいに昇格出来ないものかと思ひます。旧師団長官舎は全国的にも大変貴重であります。建物の価値をもっと知って欲しいです。旧短大本館の解体も大変残念ではありません。展示の図面も正確性に欠けています。技大生にお願いして実測していただいたらどうでしょう？貴重な建物の見学ありがとうございます。
- (◎) とても見応えのある建物でした。(このままでは大変かもしれませんがむしろ迎賓館になっていなくてよかった)せっかくのすばらしい建物ですので大きく作り変えるももったいないと思ひますが、活用できる道があるとよいと思ひます。愛岐トンネルや半田赤レンガ建物など、市民パワーでがんばっているところもあるので、うまく協力できるとよいと思ひます。また機会があれば公開お願い致します。(日程が合わず来れない知り合いもいましたので)
- (◎) 窓枠によじ登ったりピアノを弾いたりする子供がいてびっくり、注意しない親、一般公開なので誰が来ても良いとは思ひますが、一部のマナー違反は残念。迎賓館実現すればいいなあ。明治村みたいでした。
- (○) 愛知大学の卒業生ですが公館の存在は在学中はまったく知らず、先月市の美術館の催しに参加して初めて知りました。このような貴重な文化財を是非今後も良い形で保存し、市民の皆さんに知って頂きたいと思ひます。有難うご

ございました。

6月9日付

- (○) 以前から好きな建物で撮影等に訪れていたが、今回中を見学できる企画に感謝します。何分古い建物で維持も難しいかと思われませんが、大切に残し保存するとともに(あまり手を加えない範囲で)地域には見学等の機会を通じてこれからも知られ愛される建物としてPRしてほしい。ちょっと人が多くて入退場に工夫がほしかった。
- (●) 公開日が2日間と短く、参加人数が多すぎると思います。もう少し期間を用意して申込制にすべきだと感じました。個人的には有料でも良いかと思います。又建物の保存状態も良いとは言えません。その上、多くの人が訪れて職員が目が届かない状態だったので、貴重な文化財を管理する上で問題もあると思います。類似の近代建築は多数ありますので、管理体制等参考にされるのが宜しいかと。